

謹賀新年

今年も平穩で健やかな年でありますように

平成十七年 元旦

シャープ社友会 広島支部役員一同



西条盆地に昇る朝日



シャープ社友会
 広島支部会報
 ひびき 第33号

セミナー&平成十七年賀詞交歓会 ご案内

日時 平成17年1月21日(金)
 場所 ラポール広島
 受付 am 9:30~

スケジュール 10:00~ オリエンテーション
 10:10~ 「保険」に関するコンサルティング 小林 晃氏
 11:40~ 高齢者のストレッチ体操 梅田 正明氏
 12:00~ 記念写真撮影
 12:10~ 新年賀詞交歓会
 14:00~ 散会

会費 2,000円 (新年賀詞交歓会出席者のみ)
 駐車場 会社第3工場 係員の指示に従ってください



主要記事

4 3 2 1
 3 面 面 面
 7 面

H O W D O Y O U D O
 会社との懇談会
 春夏秋冬
 謹賀新年
 お知らせ

12 11 10 8
 面 面 面 9
 面

秋の旅行ア・ラ・カ・ル・ト
 役員会だより
 追悼 大和将雄さん
 社友短信・新会員紹介

新年恒例ボーリング大会

日時 1月29日(土) am 10:00 ゲームスタート
 場所 賀茂ボール
 会費 2,000円 (ゲーム料・シューズ・賞品含む)
 競技 2ゲームのハンディキャップ方式で合計ピン数で順位決定
 申込 1月20日(木) 同好会推進リーダーまで



「これからの支部に思う」

広島支部長 出口 昌孝

新年明けましておめでとうございます。皆様には、益々のご健勝のことと存じます。

さて、昨年は春から「やる気」と題して、規模の膨らみに見合った相互の親睦と、交流を図れる様に、体制強化を図りました。

その一環として、新たな同好会の「ダンススポーツ」、「絵手紙」そして、「写そう会」を加えて、計10個の同好会となりました。参加人員もそれぞれの趣味に合わせ参加され延べ172名の加入者となり皆様の活躍できる場も拡がりました。

支部としての年間活動計画に沿った行事も軌道に乗るところまでに来ましたが、初代役員及び先輩会員の方々の努力と協力によるものと感謝しています。

しかし、経過と共に、支部統括範囲の広がりや規模の成長に伴い、中四国地区として会員の増加による、それらに見合ったサービスタ活動体制はうまく機能しているのだろうか。

また、折角の組織活動が一方通行になつていないだろうか。

さらに、もつと各地区からの活動参加ニーズがあるのではないだろうか。

例えば、同好会参加でも地元東広島市地区を除く他の地区を合わせての参加は、20%弱で地元参加の61%に比べて低い状況にあります。

す。などを懸念するところです。

特に、現役時代の職場環境の違いが、影響しているようにも思える意見が、昨年の「生活アンケート」にも伺え、行事参加に躊躇する話も耳にします。



定年後は、それらを離れ、新たな友人としての親睦を高め、生き甲斐を見つけ、日々の生活を楽しくエンジョイできる環境の「器」が社友会であり、支部であると思っています。

その意味で、過去面識の無かった方々も、一

同に会える「新年会」や「定例総会」への参加で、親睦と再会の楽しみとあわせ、同じ趣味を持つ仲間との「同好会」への参加が一番の近道であり、その後のの繋がりになるものと思えます。

今年、これらの同好会参加者の拡がりを、地区へと発展の試みをおこないます。地区単位での活動基盤の構築の年と位置付けて、例えば近隣の会員での繋がりを推進します。

「気持ち若くとも距離が遠く感じるこの頃」だけに地区でのコミュニケーションを深めたいものです。

その為の地区会員の趣味による同好会の提案もあって良いのではないのでしょうか。そのことで連携や親密さが深まるのではないかと思っています。

また、支部としての情報発信活動にも規模に似合った設備と体制が要求とされています。郵便から電話・FAX、さらにEメール・ホームページ構築とインターネット対策への取り組みを支部広報担当がリーダーシップをとって取り組んでくれています。

「より早く」、「より多くの情報を」、「都度」発信できるシステムづくりが必要です。

その為の必要情報収集をもアンケートで協力をお願いしています。

これらの課題は3000名規模となる社友会全体にも言えることで、会の運営を預かる者の課題と悩みは常にあります。この背景をご理解いただき、支部としての特徴を生かした活動に結びつく様、皆様のバックアップを願っています。

今年も皆様にとって健康で活躍できる良い年であります様、祈念いたしております。

会社との懇談会

厳しきですが更に事業規模拡大を目指す

去る11月19日(金)社友会室にて通信システム事業本部 大島副本部長(兼パーソナル通信・第1事業部長)、総務部 千田副参事と社友会・紅葉会役員との懇談会が行われました。始めに出口支部長より各担当役員の紹介、続いて大島副本部長より事業本部の現状、上期の業績、業界動向、下期の計画等の説明、更に最近発表の携帯電話新シリーズの紹介を頂きました。

大島副本部長の説明概要

◆2004年度上期の状況

上期単体の業績は売上げ、利益共に基本計画を達成した。

上期の成果として、パーソナル通信事業部は国内の携帯電話のシェアが出荷台数ベースで業界第2位になった。

本年7月、中国に海外向け携帯電話の生産拠点を立ち上げた。

反省点としてはカメラ付携帯のヒット商品生産において、カメラ部品供給が追いつかなかった。

I P通信事業部の成果としては、最近話題のマルチファンクションプリンタ(MFP)市場に参入出来た。反面、電話、FAXなど既存商品の市場が急速に縮小している。

◆業界動向と環境の変化

携帯電話は3G(第3世代)の時代が来た。

「お財布携帯」の話題がたかまっている。

海外向けは携帯端末が主体であるが、価格的には相当厳しくなる。国内価格の半分から3分の1位にしないと難しい状況にある。

有線関係、I P関係ではFAXとか電話など既存のものはシュリンクして、ブロードバンド系に変わ

ってきている。

◆2004年度下期事業計画

下期の携帯電話事業は、前年同期比アップを目指し、通期で2桁アップの計画達成を目指す。

I P通信事業部は既存商品が縮小傾向のため、前年同期を多少下回る。

◆2004年度下期の基本方針

・最近の携帯電話の自身はパソコン並の機能を要するため、その開発費が重くなり収益の足を引く張っている。更に、設計のコスト力をつけていく。製品のラインアップを充実していく。販売上のキヤリアを増やす。小型化などデザインの更なる改善などを図る。

また、ブロードバンド関係は 大人の携帯としてエグゼクティブ的な渋い感じのデザインを目指していく。

◆海外携帯電話事業拡大に向けた取り組み

各国の販売体制をキメ細かく見直し強化する。

最後に、今回発売のSH901iはドコモ901シリーズとして大々的に発売する。このモデルは5社の競争で発売されるが、当社は夜を徹して頑張りトップを切つて発売することが出来た。

特 長： アクオスと同じモバイルasv液晶を使い



大島副本部長の説明を聞く支部役員・紅葉会役員

広視野角、コントラストが明瞭で、くつきり見える。ビューアポジションで撮影出来る操作性の良さ。3Dサウンドは音が立体的に出て、ゲームの効果音に臨場感が出る。テレビの録画・再生ができる。テレビに映したり記録したりできる、など。テレビコマーシャルも全国的に放映されます。今後とも、皆様のご協力をお願い致します。

ダンス
スポーツ

成果発表兼ねて

第一回 ランチ付きパーティー開催

10月以降、2名の女性会員が増え、総勢12名で現在活動しております。

努力目標として企画した、12月の発表会にはワルツを二人組で一曲2周を練習して来ましたがほぼ終え、パーティーに備えてブルース、ジルバ、ルンバの基本ステップを特訓してきました。

12月19日(日)、成果発表の場に会員以外の人もお誘いして、ランチ付きのダンスパーティーとして、社友会、紅葉会のご支援も得て盛大に開催致しました。



始まりはバイキング様式の昼食会から

当日は、会員12名に加えて、会社関係者やご友人など総勢38名が参加し、正午から3時までの3時間、賑やかに



楽しく過ごしました。

先ず同好会リーダーの御礼ご挨拶、続いて社友会支部長のご祝辞と乾杯を頂き、クリスマスソングの流れの中、バイキング様式の昼食会と簡単なゲームでムードを盛り上げました。

いよいよ、会員7組によるダンス発表会とショーに入りお客様の目をホールにクギ付けしました。

後半のダンスタイムには、先ず、クリスマスソングで盛り上げ、〇十年ぶりとおっしゃる人や初めての人等、皆

で楽しく踊りました。

初めての人には、それぞれの種目ごとに基本ステップをアドバイスしながら積極的にご参加頂きました。

ダンスの後、半券による景品抽選会を行い、皆様には満足頂いて閉会と致しました。

第一回としては大成功だったと自己満足の評価を致しております、とは

絵手紙

個性を表現できる作品創りにチャレンジ

今年の5月より発足しました絵手紙同好会です。会を造る切っ掛けは①美を創る ②参加し易い ③作品を残したい ④発表したい ⑤女性の方が参加してほしい、等の思いがありましたので、機会をうかがっていました。

幸い講師をしていただく迫谷先生に出会いましたので、お願いをし、発足させることが出来ました。

絵手紙は自分の思いを、絵と文章に表現し相手に伝えることです、文字どうりに絵の手紙です。

いままでも12回の教室を開きました。

今回が全く始めての人、何回か経験をされている人、といるいろいろな方の集まりでしたが、迫谷先生の指導のもと、和気あいあいと楽しい、ときを過ごしています。私も水彩画、油絵、

言え今回の反省も含め来年は更に盛大に発展させていきたいと考えております。尚、このパーティーで4名の入会希望者が有りました。

の経験は少しありますが、絵手紙はまた違った世界です。1回1回、テーマを変えて、モチーフも変え新しい、作品創りに取り組んでいます。

前回のひびきにも、記しましたが、絵手紙は下手で良い、下手が良い、のとうり、無限にある自分の表現力を試すことです。

来年は自分の個性を表現できる作品創りにチャレンジしてください。

また、一度参加してみたい、描いてみたい方歓迎です。

毎月第2、4の火曜日に練習をしています。(ラポール広島)一度来てください。

写そう会

気楽に写真を楽しむことをモットーに
撮影・講評・勉強を繰り返す

昨年11月2日に会の会員でもある吉久副支部長に出席戴き、「写そう会」の発足を、同好会の活動をスタート致しました。11月16日には佛通寺(三原)にて会発足後、初の撮影会を開催しました。薄曇りの天候という好条件の中で日頃の腕前を發揮すべく、印象的な秋の紅葉



を愛用のカメラに収めようと、枝ぶりや彩りを見ながら構図を考える光景が、数多く見受けられました。12月の例会では、撮影会場所となった佛通寺を中心に、今秋撮影した紅葉写真の力作を持ち寄り、終始和やかな雰囲気の中で、出品作品に対する出席会員からの忌憚のない品評の後に、作品の人気投票を行い、上位人気作品3点を選定しま

した。今回は、流石に力作揃いで甲乙つけ難く選定作業が難航しましたが、最優秀賞に谷水さん、優秀賞に廣兼さん、今井さんが選ばれました。「写そう会」は名前の通り、お互いが気楽に写真を楽しむ事をモットーとしており、毎月第一火曜日の午後を定例活動日として、撮影会、講評(品評)会、勉強会を1サイクルとして運営します。

グラウンドゴルフ

11月の大会 広兼さんが優勝
12月から練習場所・曜日・時刻変更してます。

11月19日の大会も暖かくてコンディション抜群のなか、10名の参加者で優勝カップをめざして真剣なプレーを競い合いました。始めに当日セットしたホールポスト位置の確認も含めて、練習ラウンド体験したのち本番プレーにうつりました。スタートホールで広兼さんが「止まり」を出され、他の者にプレッシャーをかけられました。その後バーディはカウントできるものものそれ以上がなかなかという時、再び広兼さんが「止まり」を出され、一同参ったという感じで試合は進行し、最終ホールを迎えたところ、小幡さんが気合でねじ込み「止まり」3回で今回の大会の幕を閉じました。

十月の台風で用具保管庫(約一坪)が倒壊しましたがその後、修復しております。尚12月に入り、寒くなりましたので活動の拠点をシャープスポーツセンターにし、例会日時も毎週日曜日の十時からと変更しております。暖かくなる春までは、練習日時が変わったことを、片隅に留めておいてください。今大会の成績上位者は次のとおり

銀塩カメラとデジカメ主流派が各々混在する中で、ベテラン組が初心者をサポートしながら、会員全体の写真技量向上に努めています。会員は21名でスタートしていますが、写真に興味のある方は気軽に会合に参加されて写真を通して趣味・人生を楽しみましょう。
【入会申し込み先】
写そう会リーダー 谷水

- 優勝 広兼 惟央さん
- 二位 小幡 友幸さん
- 三位 水谷 正弘さん

記 河上



ゴルフ

2日36ホール競技を復活第75回コンペ
第76・77回コンペはストレス増幅

第75回コンペは、月例コンペ参加者数の過半数の集まりがあり、広島北部を舞台に、庄原カントリークラブと富士三ツカントリークラブの二日間36ホールストロークプレーで競いました。
宿泊は「温泉めぐり」を加え、「かんの郷庄原」を選びました。コンペ一日目の成果の中間表彰をネタに、話が盛り上がり最後はカラオケで2時間の宴会も楽しく終わりました。
初日のラウンドは、週間天気予報を裏切る台風24号の影響で生憎の雨。言わず

と知れた成績で、トップの4オーバーパーを筆頭に16ストロークのなかに18名が競う結果となりました。
二日目は雨も上がり晴天。各選手は挽回作戦で挑みましたが、今回も初日のトップが二日目に入れ替わり、ジंकウスは破れませんでした。
第76回コンペは、慣れたコースの一つで、天候も予報と変わり、心地よい日和になり各選手も自信の面持ちのスタートの様子でした。
コースは例年になく数多く上陸した台

風のつめ跡が残り、瀬戸内海の風景が損なわれた感じでした。
一方、コースの整備も良いのか予想以上にグリーンが早く、アンジュレーションに悩まされた選手も多く、結果は怖さ知らずの成長株が6アンダーを記録したのみで、後はストレスの残る一日でした。
第77回コンペは山岳コースで、今回で4回の挑戦になります。初夏シーズンには朝霧に悩まされ、リベンジに対し何れも「返り討ち」にされています。
今回は初冬で、自宅付近には朝霧が発生し、一時は心配もしましたが、竹原の山は晴天で、安心のあまり張り切りもあつたのでしょうか？ グリーンの速さと傾斜に手こずりました。

アンダープレーイが一人で、あとはすべてオーバーパーになり、今回も宿題をもらい、ストレスの残ったプレーイでした。
今年のプレーイはこれで終了し、1月、2月はシーズンオフとして今年の各自への宿題の取り組みと体力維持に努めていただきます。
3月、賀茂カントリークラブにて「二〇〇四年グランドチャンピオン」決定戦と二〇〇四賞金王他、各種年間成績への最終戦となります。
4月から、二〇〇五年度に向けて新たな「励み」を求め開幕します。

平成16年度第7戦～第9戦の成績

(NETスコア)

第75回コンペ(36H) (10/26・27庄原・三ツC/C)			第76回コンペ(18H) (11/12三ツ瀬戸内GR)			第77回コンペ(18H) (12/13竹原C/C)		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	新宅	-6	1	猪飼	-6	1	今村	-1
2	山本W	-1	2	清田	0	2	山口(剛)	+3
3	i伊藤	+8	3	藤山	+1	3	樫見	+3
4	植木	+10	4	今村	+3	4	堀	+5
5	山本(博)	+11	5	高見	+4	5	藤山	+5
6	佐々木	+11	6	川野	+5	6	原田	+6
7	出口	+14	7	山口(剛)	+6	7	牛田	+6
8	山内	+16	8	山本(善)	+6	8	山内	+7
9	吉久	+16	9	原田	+7	9	伊藤	+7
10	山本(善)	+20	10	小谷	+8	10	森本	+7
11	西尾	+21	11	車角	+8	11	鈴木	+9
12	嵐	+23	12	御給	+8	12	松本(全)	+9
13	奥村	+23	13	出口	+9	13	嵐	+10
14	原田	+27	14	伊藤	+9	14	杉山	+10
15	山口(春)	+28	15	堀	+10	15	松本(邦)	+10
16	松本(邦)	+29	16	新宅	+10	16	広瀬	+11
17	車角	+30	17	松本(全)	+11	17	猪飼	+11
18	杉山	+43	18	吉久	+11	18	車角	+12
			19	山内	+12	19	徳永(文)	+12
			20	佐々木	+12	20	山口(春)	+14
			21	嵐	+13	21	山本(博)	+16
			22	山口(春)	+13	22	小谷	+16
			23	松本(邦)	+13	23	新宅	+16
			24	森本	+14	24	津郷	+16
			25	稲場	+15	25	出口	+17
			26	西尾	+13	26	吉久	+17
			27	奥村	+16	27	相馬	+21
			28	徳永(文)	+22	28	奥村	+22
			29	津郷	+25	29	山本(善)	+22
						30	稲場	+23
						31	佐々木	+30

庄原C/C	三ツC/C		
嵐	山本W	嵐	小谷
奥村	奥村	猪飼	藤山
植木	山内	高見	伊藤
	山本w	車角	伊藤



写真上 中央・優勝の新宅さん。左・二位の山本(W)さん。右・三位の伊藤さん。
写真下 左・優勝の今村さん。右・三位の樫見さん。
(二位の山口さんは表彰式欠席)



釣り

今年は
大型魚を狙う？

4月9日をスタートに12月2日まで計11回実施しました（2回は中止でした）。

釣果の結果を、○X△で残っています。○が4回、Xが3回、△が4回でした。○を見ますと、アジ、サバで3回あります。Xを見ますと、3回の内2回がアジ、サバでした。

つまり12月から4月間のメバル釣りは、大漁にはならなくてもまあまあ釣れています。

ほとんどが△ですが、アジ、サバの5月から11月はいい日は大漁で、悪い日はボウズという結果です。

青物はその日の潮・天気・水温で釣果が



大きく変わるといふことです。だから釣りは面白いのです。楽しいのです。ちなみに11月1日と17日は2日共に大漁で、舟のイケスの中が酸欠になり、アジ、サバ、が横になるほどでした。

ところが12月2日は風も有りましたが全くのボウズで、アジが一人2〜3匹でした。たまたま前日に、船頭さんが鳥賊とアジを釣って連れていたので、お土産はありました。

今年の取り組みですが、今の鹿島（小平遊魚船）はできれば月1回にして、他に2ヶ月に1回程度は、大物狙いで、山口県の大島近海への釣行を検討しています。



11月の釣行。大漁を反映して皆さんの表情が明るいデス

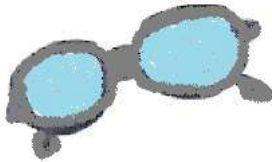
あるこう会

会員の意見を反映した
積極的運営を

今年は、積極的に健保のウォーキングも採り入れて、ウォーキングに変化を持たせる様にしました。また、家庭を留守にする機会を出来るだけ減らし“あるこう会”の例会を効率的に行える様に務めたのですが、会員の満足を得た魅力あるウォーキングが出来たかと反省しています。



平成十七年度は、会員より多くの意見を積極的に出して戴き、全員で楽しく創る活動にして行きたいと思っております。宜しくお願いします。



囲碁・将棋

脱線の話題の合間に
対局奮戦

70cm、が期待できます。しかし、いつも釣れるとは限りません。また、道具も電動リールが要ります。一度みなさんの意見を聞いてみたいと思います。今現在、会員数は19名です。

社友会の皆さん、あけましておめでとうございます。

再スタートして早いもので二年二ヶ月。毎月第一月曜日を定例日として活動を進めて参りました。

この間、会員の皆様の協力を得て、活動日は毎回熱の入った対局の一方で、会員相互の情報交換等にも花が咲き楽しく有意義な一日となっております。

さて十二月六日、将棋を徳永さんvs山本善さん、その横で囲碁を河上さんvs世話人が対局という事に成りました。何れも決して強い！と云うほどでは

今後が増えると思えますが、無理をしないで、あくまでも楽しく、そして元気で魚釣りができる環境を創りたいと思えます。今後共宜しくお祈りいたします。

ありませんが途中でゴルフや健康の話に脱線したりしながら、その隙を見計らって勝利を目差して奮戦の次第。皆さん！今年はいろんな事に積極的に参加して頂き、心身共に活性化し若返りに挑戦しましょう。囲碁将棋同好会も皆さんのお越しをお待ちしております。



パソコン

2月から改めて
画像編集の集中講座

昨年は年初から、画像編集をテーマに勉強会を続けましたが今年も2月から、利用するアプリケーションを替えて、集中的に勉強会を計画します。

一方月例会は、原則として毎月第1水曜日に、情報交換をメインに行います。昨年始めたネットミーティングも継続し、月例会のフォローを行います。

会員の皆さんが見つけた面白い話題や、有益な情報も交換し、レベルアップの一助に役立てたいと思っています。



12月例会に出席した皆さん

秋の親睦旅行ア・ラ・カ・ル・ト

一泊二日 伊勢・三重の旅

□その日、すっぼりと乳白色の濃霧に包まれて出発しました。社友会広島支部の旅行では、初めてバス二台（大型+中型）での旅行になります。

□山陽自動車道・中国自動車道・近畿自動車道では、高速道路らしく順調な旅でした。

□最初のハブニングは、西名阪自動車道に入っすぐでした。集中工事とやらで、車線減少があちこちにあり、国道25号線になるともう大変。

□昼食予定の、上野市のドライブイン到着予定時刻が大幅に遅れそうです。当然、亀山工場到着も大きくづれこむことは必至の状態になりました。企画担当幹

事は、添乗員と鳩首会談。ガイドさんも加わり、結果として工場到着予定を変更。その変更した時刻からさらに遅れて工場に着きました。正門まで、ご担当の方々に迎えられました。

□2号車が到着しません。その間、ご説明をいただいた武副本部長を始め、皆さんは待機状態のまま、随分ご迷惑をおかけしました。

□宿舎の戸田家に着いたのは、暗くなつてから。当日予定していた外宮参拝は翌日に変更。

□戸田家の食事は論評省略。ただし、悪くはなかったです。

□一方の温泉には、夕食前・就寝前・朝

食前の3回が平均のようで、いろいろ湯船の違いも試してみました。
□おもしろも、翌早朝に天体ショーがある、と未だ暗い午前5時にはカメラがわいで出かけたのが若干名。月を挟んで金星と木星が1列に並んだという。

亀山では、わざわざ会議を中断して、会場に寄っていただきました
森光事業戦略室長



中身が見えないから「ブラックボックス」。世界最新鋭生産ラインは、展示パネルで類推。「亀山」が会社の広告塔であるとの説明に納得しました。
それにしても、デカイです。それにキレイです。



バスの後部はラウンジ風。そのつもりで準備した酒肴もあって、トイレ間隔が短くなった方もありました。



旅程 平成16年11月9日(火)～10日(水)
 天候 往路の途中まで霧 以降帰着まで晴天
 参加者 社友会 26名(内夫人同伴7名) 夫人のみ2名 計35名
 紅葉会 20名 総計55名
 宿泊ホテル 鳥羽市 戸田屋



□二日目は、外宮参拝からスタート。バスガイドさんの先導で、ゾロゾロと歩きました。

□内宮へ。指定案内人に先導されて参道へ。さすがプロの称号。

□五十鈴川でアクシデント発生。過日大量量販店の開店バーゲンで買ったデジタルカメラがドボン。水中から拾い上げ、デイスクを抜き、遠心分離方式で水きりしたが、当日は使用中断。帰広後整備し、現在機能に変化無し。

□恒例の土産屋さんを、いくつか順訪って、車中でラッキープレゼント。海産物の店では、本物のお土産がある。特等は、ボイル伊勢海老。ゲットしたのは写真左のお嬢さん。



池田征三郎さん



谷水毅さん



高橋文夫さん



紅葉会
竹之内悦子さん

(写真下) 添乗員の中村さん(右)と河本さん(左)お世話になりました。



紅葉会
光宗紀子さん



内宮前の「勢乃國屋」さんから、渡辺龍子さんが内宮のガイドを務めてくれた。口調は滑らか。絶妙の語り口。時にはユーモアを交え爆笑を誘う。自店のPRも忘れない。後刻、店で聞くと10年を超えるキャリアだとか。さもありません。プロの領域。ちなみに「勢乃國屋」の「神代餅」を土産にしましたが、美味でした。

□信楽焼の里が、最後の土産立ち寄り。極大から極小、赤やら黒やら。ひやら早やら。「福」の縁起を担いで、あの方この方、最後のお買い物でした。

□添乗員の二人。夕食懇親の宴が終わるまで、食膳に手を付けた気配が無かった。これも、プロである所以なのか。



役員会だより

10月から12月の役員会で検討された内容です。
「地区委員の設置」と「招待会員制度」は、来年度の新規活動方針です。事実上準備段階にあり概要をご連絡します。

□地区委員の設置

広島支部担当の中国・四国地区の遠隔地在住の方から地区委員を設けることとし、現在推進中です。その一環として、遠隔地会員との第1回懇談会を10月15日(役員会)に広島にお招きし、開催しました。今回の出席者：越智光夫氏(山口)、山澤純一氏(鳥取)、松本邦彦氏(広島)、奥村正男氏(広島) 四国地区の会員も予定していましたが、ご都合悪く出席されませんでした。

まず役員会出席の前に佐々木幹事を交えて、昼食を取りながら懇親会を行いました。

役員会では出席者の自己紹介、社友会への要望、その他意見交換等を行い、有意義な一時を過ごしました。

地区委員は広島支部役員会と密接な連携を取りながら、担当地区の情報収集や何かの時の対応等をしていただくことを予定しています。

出席者よりは、「現在は同一地区の会員数が少ない」、「事前に各地区毎に会合を持つのが良い」等いろいろのご意見を戴きました。今後これらのご意見を参考にしながら進めていきます。

広島へ来られなくともお近くで集まって、懇談会を実施して戴き、ご意見を役員会へお寄せください。

注)中国・四国以外の地区については、何かの時には本部や他支部の協力を得ることを考え、地区委員は任命しないことにしています。

□招待会員制度の発足

今まで会員がお亡くなりになった時は、その配偶者の方は社友会と無縁になっていました。

これは大変寂しいことであり、今後は配偶者の方が希望すれば、社友会 広島支部の活動に参加戴ける様明確にしました。

具体的な推進方法は今後詰めてゆきますが、概要は以下の通りです。

①会員がお亡くなりになっても、社友会 広島支部主催の同好会・親睦旅行等の活動に参加ができる。

②この制度はご本人(配偶者)の御意志で参加・不参加は決めて戴きます。途中からの変更も可能です。

③過去に逆上って該当者全員を対象とします。紅葉会会員、社友会会員の夫人等女性が多数参加していますので、気兼ねなく参加できると考えます。

皆様のご近所で該当の方が居られましたらば、是非入会をお勧めください。

□アンケートの実施

昨年末、3項目につきアンケート調査を実施しました。

- ① 計報連絡網に関する調査
 - ② セミナー&新年賀詞交歓会に関する調査
 - ③ H17年度日直業務受諾調査…対象会員のみ。会員各位のご協力を感謝いたします。
- 今後共に皆様のご意見を頂戴することがありますが、その節はよろしくお願い致します。

<参考情報>*2004年 社友会に関係の深い(通信)管理職の人事異動

5月16日付け

通信 総務部長 堂本部長→樋口部長
堂本部長は環境品質統括付き参事に就任。

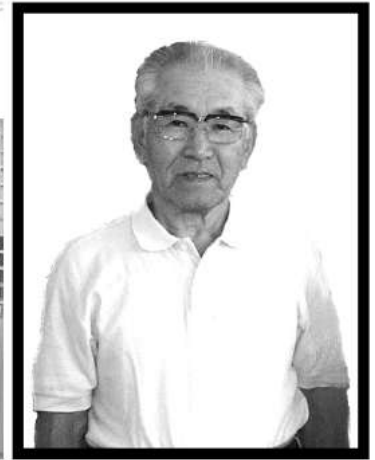
9月 1日付け

通信 総務部労務担当 重政副参事→千田副参事(昇格)



追悼 大和将雄さん

享年70 ご冥福をお祈り申し上げます。



特別寄稿

大和将雄さんを偲んで
上総 保

大和さんとの出会いは四十数年前シャープに入社した西田辺の製造技術部での仕事仲間からであった。
ところが、今となっては脳裏に出てくるのは山での思い出ばかりである。

当時はハイキングや山登りがブームになり始めた時期で、職場でも休みの日にはグループで野山に出かけていた。ところが二人は段々とエスカレーター、本格的な山登りへと大和さんの寮にしげこんで、次ぎの山行きの相談をしていた。

とはいえ、当時は給料も低く、休日も少なかつたので日本アルプスへの夢を馳せつつ、活動の場はもっぱら大峰、比良、六甲等の近畿の山であった。唯一、昭和36年の夏に北アルプスの八方尾根から後立山を縦走、天候にも恵まれ素晴らしい山行きであったのが、今も昨日の事のように思い出される。その後は職場が変わったり、結婚等で二人とも自然と山とは疎遠になっていった。

御長男に『穂高』と名づけられた事を聞き、いつか穂高にと熱っぽく語っていた寮での大和さんがいまさらのように想いだされる。

なぜか、山へ行きたくなり去年11月から山登りを始めた。40年ぶりに思い出の山々を逍遙している昨今である。今年の夏はあの穂高をと計画していたが入院というハプニングではたすことが出来なかった。

大和さんを偲びつつご冥福をお祈り申し上げます。

昭和37年2月 厳冬の比良山を縦走した折の大和さん(右)と上総さん(左)。因みにこの日の昼食は、大和さんが手にしているビスケットだけだった、とか。



社友短信

◇小幡友幸さん

瀬戸内海では物足りない、と日本海に遠征する「釣り」も趣味としている。波高が1.5mを超える船が出ない。昨秋は、何度空振りしたところか。冬季は、荒天もあって波高く予定もたてられずストレスが溜まりそうだ。



昨年12月10日にゲットした「ヒラマサ」。三つ掛ったが、二つバラした。逃がした方が大きかった。次は、逃がさん！

◇第17回東広島市美術展入賞・入選

市制施行30周年ということもあって、記念事業として開催された。絵画・彫刻・デザイン・書・工芸・写真の六部門に三四一点の応募があり、二五五点が入選し、三十三点が入賞した。

その中で、工芸の部で今井省吾さんの作品「空間への誘い」が奨励賞に輝き、同時に絵画の部で「冬から春へ」が入選。

写真の部では、車角裕規さんの作品「紅蓮の舞

新会員のご紹介

2004.10.1~12.末 入会者

やまだ こうへい
山田 晃平さん No.3106 通信システム事業本部

みやたに いまお
宮谷 勲さん No.3107 通信システム事業本部

いのう たえこ
稲生 妙子さん No.3121 通信システム事業本部

ほそだ しゅんじ
細田 俊二さん No.3126 IC事業本部

12月末現在広島支部会員数
179名

い」が入選した。

◇相馬實さん

支部代表幹事でもあるが過日、「三連笑」の快挙を達成した。近隣のコースの、現役を含むメンバーで行うゴルフ月例会で、「優勝」「ウマの独り占め」「コース提供賞品」のあみだくじ当選。当たりすぎて気持ちが悪かるうと、外野のやっかみを気にする気配も無く、無事に帰宅されたようだ。

◇谷水毅さん

第52回竹原市美術展に「写真」で初応募。見事に美術協会賞に輝く。尾道・西国寺の山門か

編集後記

□明けましておめでとうございませう。一年に4回発行する当「ひびき」も、第三十三号を数える。

1月早々には、「セミナー&賀詞交歓会」があり、セミナーの「テーマ」を「保険」にしている。TVを見てみると保険のCMが目白押しで、何やら得をする前提で構成されている感じがする。ウマイ話にはウラがあるのが常識と思うが、是非とも勉強したいテーマだ。

□先日、社友会本部の脇田東作さんと電話で話をする機会があった。話題が故大和将雄さんになって、相当の昔に「北アルプスの白馬」で出会ったが「かなりの山キチ」と見うけた、との情報を得た。ご本人については、ゴルフ関連の話題は多いが、「山」は初耳で同行の上総さんに、急遽に寄稿をお願いした。知られざる大和さんの一面をご紹介する。

□昨秋、年賀状に使用する「写真」を「求めて都合八回、三次の高谷山へ行った。毎日が展望台の上まで霧に沈んで、使えるのは1枚だけだった。

やむを得ず、本号には近場の間に合わせて構成した。ご容赦を。

(裕)

ら、境内の満開の桜を望む撮影。

美術展の会場で、奥さんの話を聞いた。定年後に本格的に始めたそうで、出だし好調に苦笑気味の表情に見えた。